



県民の願いに応えぬ 浜田県政当初予算

全国最悪の死者割合 対策や支援の遅れ

●本県の1~2月の新型コロナ新規感染者に占める死者の割合は全国平均の約3倍、

全国最悪となっています。医療機関や高齢者施設、学校でのクラスターの多発が要因です。

党議員団は、従前の取組の延長ではなく、これから施設への定期的な予防的検査、社会的検査でクラスターの芽を事前に摘み取る対策の強化や、検査をすればするほど赤字になる診療報酬の引き下げや、消費税を財源にして病床を統廃合したり削減する国の流れから県内の医療機関を守る予算措

置等を求めましたが知事は応えず、です。

また、介護分野でも、「ワークシェアなどの新しい働き方の普及」などと言って、介護現場に細切れ労働を持ち込み、介護職の専門性をおろそかにして処遇を更に悪くする国の流れを持ち込もうとしています。

家族経営の農家・事業者潰す 消費税インボイス制度「必要」と知事

●中山間地域を衰退させてきた新自由主義か

ら転換して家族・小規模農業など今ある生産に光を当てる施策転換も見えてきません。それどころか、売り上げが1000万円以下の県内事業者には甚大な負担を強いる消費税インボイス制度を「必要」とする答弁をして憚らない浜田知事の姿勢は、県民の暮らしの実態と願いからかけ離れたものと言わざるを得ません。党議員団は浜田県政当初予算不承認であることを明らかにしています。



2月県議会塚地議員の一問一答質問。(しんぶん赤旗3月12日より)

戦争遺跡保存ただす

高知・塚地氏

日本共産党の塚地佐智高知県議は10日、県議会で一般質問し、戦争遺跡の保存の問題などをたどりました。

今年度、県が買い取り整備・活用が進められる高知市朝倉にある旧陸軍歩兵第44連隊跡地の活用と保存の問題を取り上げた塚地氏は

と答えました。塚地氏は、施設運営にあたって地元住民の協力が必要になるとして、地元への説明を求めました。岡村部長は「できるかぎり早い時期に説明する」と答えました。

まず、戦争遺跡の重要性について質問。浜田省司知事は「戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に語り継ぐという上で大変重要な役割を果たしている」とのべました。塚地氏は戦争関連資料や遺品などが保存されている歴史民俗資料館の関連施設にしていくことを提案。岡村昭一文化生活スポーツ部長は同館との関係を考慮していく

女性管理職の配置について塚地氏は、県政の重要な政策判断を最終的に行う庁議の場に2年連続で女性がいないことに対する認識をたどりました。浜田知事は「心にとめ、しっかりと検討していく」とのべました。塚地氏は政策調整会議にも同様の懸念があると指摘。徳重寛総務部長は17人のうち、女性は2人と回答。塚地氏は県庁のリーダーが「あたりまえ」の組織になるためにも、女性参加の努力を求めました。